



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス

上場取引所 東

コード番号 2681 URL <http://www.geonet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 結蔵

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部ゼネラルマネージャー (氏名) 梶田 義章

TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

2018年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	132,573	2.6	7,321	1.9	8,186	3.9	4,981	14.0
2018年3月期第2四半期	136,142	10.8	7,463	80.2	7,881	76.4	4,369	80.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 4,960百万円 (12.5%) 2018年3月期第2四半期 4,408百万円 (77.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	108.66	108.23
2018年3月期第2四半期	90.97	90.70

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	130,878	70,076	53.4
2018年3月期	137,335	72,191	52.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 69,840百万円 2018年3月期 71,991百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		17.00		17.00	34.00
2019年3月期		17.00			
2019年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	3.1	12,500	14.8	14,000	8.2	7,600	14.9	165.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	43,871,188 株	2018年3月期	48,349,700 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	株	2018年3月期	450,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	45,843,512 株	2018年3月期2Q	48,022,746 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、フリマアプリの浸透やスマホアプリ等を使用したネット専門事業者の売買が増加するなど、リユース市場の活性化が続いております。

当社グループにおいても、リユース系店舗を中心としたリユース商材が堅調に推移、また当社子会社が運営する公式サイト(ゲオマート)におけるプロモーション等を強化した結果、ECに関連した販売も伸長しております。

レンタル商材の軟調や前期における新機種ของเกม機器発売等が活況であったことから前年対比では減収となったものの、リユース商材の伸長が大きく牽引し、グループ全体での利益構成の変化により、売上総利益は順調に推移しました。

店舗開発では、リユース系店舗の新規出店が28店舗(FC店舗・移転出店を含む)と順調な計画推移となりました。メンズ向けのコンセプトショップやラグジュアリーブランドに特化した店舗の出店等新たなフォーマット開発を行い、リユース系店舗において600店舗を超える店舗網へと拡大しております。

既存店舗のオペレーション効率化を継続的に取り組んでおりますが、新規出店による人件費や地代家賃等の販売管理費が増加したことで、営業利益は減益となりました。第1四半期会計期間には、当社の保有する土地及び建物について、市街地再開発事業の明渡しに伴う補償金が発生し、営業外収益を計上したこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高132,573百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益7,321百万円(前年同期比1.9%減)、経常利益は8,186百万円(前年同期比3.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,981百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

( ) 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	FC店	合計
ゲオグループ店舗数	1,624 (+13)	103 (△5)	126 (+2)	1,853 (+10)
メディア系店舗	1,049 (△5)	103 (△5)	75 (0)	1,227 (△10)
ゲオモバイル(単独店舗)	16 (△1)			16 (△1)
リユース系店舗	553 (+18)		51 (+2)	604 (+20)
ウェアハウス	11 (+1)			11 (+1)
その他	11 (△1)			11 (△1)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. メディア系店舗は家庭用ゲームの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗(屋号:ゲオ、ゲオモバイル)をカウントしています。

3. ゲオモバイルはメディア系店舗に併設されていないモバイルショップを指します。

4. リユース系店舗は衣料品や服飾雑貨等の買取販売を行う店舗(屋号:セカンドストリート、スーパーセカンドストリート、セカンドアウトドア、ジャンブルストア等)をカウントしています。

(主要商材別の状況)

①メディア系リユース

中古ゲームは前年並みとなりましたが、中古スマホ等の通信機器が売上を牽引し、売上高は26,539百万円(前年同期比102.0%)となりました。

②リユース系リユース

既存店のリユース系店舗が好調に推移したことや新規出店による店舗数の増加があり、売上高は23,953百万円(前年同期比116.6%)となりました。

③レンタル

レンタルコミックは回復基調にあるものの、映像レンタルの軟調傾向は継続的な推移となり、売上高は32,291百万円(前年同期比94.7%)となりました。

④新品

前年同期間にヒット作となるゲームソフトの発売や新機種の販売等があった影響により、売上高は33,380百万円(前年同期比82.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は78,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,291百万円減少いたしました。これは主に商品が1,948百万円、その他が1,238百万円増加しましたが、現金及び預金が9,326百万円、受取手形及び売掛金が143百万円減少したことによるものであります。固定資産は52,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が142百万円、投資その他の資産が51百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、130,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,457百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は30,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,023百万円減少いたしました。これは主に買掛金が1,673百万円、未払法人税等が1,885百万円、その他が903百万円、1年内返済予定の長期借入金が671百万円減少したことによるものであります。固定負債は30,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ681百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が771百万円増加した一方、その他が154百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、60,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,342百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は70,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,115百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,981百万円及び剰余金の配当814百万円、自己株式の取得6,308百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.4%(前連結会計年度末は52.4%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ8,215百万円減少し、36,960百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は1,811百万円(前年同四半期は6,476百万円の増加)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が8,045百万円、レンタル用資産減価償却費が3,183百万円ありましたが、たな卸資産の増加額が1,852百万円、レンタル用資産取得による支出が2,649百万円、法人税等の支払額が4,696百万円ありましたがが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は3,007百万円(前年同四半期は1,928百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が2,105百万円ありましたがが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は7,086百万円(前年同四半期は3,579百万円の減少)となりました。

これは、配当金の支払額が812百万円、自己株式の取得による支出が6,308百万円ありましたがが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2018年11月9日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,667	33,341
受取手形及び売掛金	5,562	5,418
商品	30,007	31,955
その他	6,384	7,622
貸倒引当金	△55	△63
流動資産合計	84,566	78,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,407	12,948
その他(純額)	15,988	15,305
有形固定資産合計	28,396	28,253
無形固定資産	1,443	1,470
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,393	15,426
その他	8,419	8,357
貸倒引当金	△883	△905
投資その他の資産合計	22,929	22,878
固定資産合計	52,769	52,603
資産合計	137,335	130,878
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,316	10,643
1年内返済予定の長期借入金	5,539	4,868
未払法人税等	4,634	2,749
賞与引当金	2,085	2,195
その他	11,041	10,137
流動負債合計	35,618	30,594
固定負債		
長期借入金	19,897	20,668
資産除去債務	6,201	6,266
その他	3,427	3,272
固定負債合計	29,526	30,207
負債合計	65,144	60,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,933	8,938
資本剰余金	3,345	3,351
利益剰余金	59,984	57,317
自己株式	△525	△0
株主資本合計	71,738	69,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	237
繰延ヘッジ損益	△8	△6
為替換算調整勘定	-	1
その他の包括利益累計額合計	253	232
新株予約権	200	236
純資産合計	72,191	70,076
負債純資産合計	137,335	130,878

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	136,142	132,573
売上原価	77,808	73,119
売上総利益	58,334	59,454
販売費及び一般管理費	50,871	52,132
営業利益	7,463	7,321
営業外収益		
不動産賃貸料	634	363
受取補償金	-	654
その他	479	295
営業外収益合計	1,114	1,313
営業外費用		
不動産賃貸費用	483	208
その他	212	240
営業外費用合計	695	448
経常利益	7,881	8,186
特別損失		
関係会社株式評価損	-	92
減損損失	593	49
特別損失合計	593	141
税金等調整前四半期純利益	7,288	8,045
法人税、住民税及び事業税	2,451	2,854
法人税等調整額	468	209
法人税等合計	2,919	3,063
四半期純利益	4,369	4,981
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,369	4,981



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	4,369	4,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△24
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	-	1
その他の包括利益合計	39	△20
四半期包括利益	4,408	4,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,408	4,960

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,288	8,045
減価償却費	2,398	2,042
レンタル用資産減価償却費	3,622	3,183
減損損失	593	49
受取利息及び受取配当金	△19	△15
支払利息	92	79
受取補償金	-	△654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△767	△1,852
レンタル用資産取得による支出	△2,692	△2,649
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,644	△1,708
未払消費税等の増減額(△は減少)	883	△396
その他	△559	△199
小計	5,193	5,923
利息及び配当金の受取額	12	6
利息の支払額	△92	△79
法人税等の支払額	△534	△4,696
法人税等の還付額	1,897	2
補償金の受取額	-	654
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,476	1,811
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,051	△2,105
その他	122	△902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,928	△3,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	10,400	10,100
短期借入金の返済による支出	△12,040	△10,100
長期借入れによる収入	2,900	3,100
長期借入金の返済による支出	△3,425	△3,000
配当金の支払額	△819	△812
自己株式の取得による支出	△525	△6,308
その他	△69	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,579	△7,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	968	△8,282
現金及び現金同等物の期首残高	36,908	45,175
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	143	67
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,020	36,960

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年7月27日付の取締役会決議に基づき、2018年8月31日付で、自己株式4,489,012株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ6,834百万円減少し、当第2四半期会計期間末において利益剰余金が57,317百万円、自己株式が0百万円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。